

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】平成30年12月20日(2018.12.20)

【公開番号】特開2018-173656(P2018-173656A)

【公開日】平成30年11月8日(2018.11.8)

【年通号数】公開・登録公報2018-043

【出願番号】特願2018-128114(P2018-128114)

【国際特許分類】

G 10 L 19/008 (2013.01)

【F I】

G 10 L 19/008 100

【手続補正書】

【提出日】平成30年10月24日(2018.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

サウンドプログラムコンテンツ片をエンコードするための方法であって、

前記サウンドプログラムコンテンツ片の再生中に強調するべき前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第1のチャネルグループを決定する処理であって、前記サウンドプログラムコンテンツ片が、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含む複数のチャネルグループを有する当該処理と、

前記サウンドプログラムコンテンツ片における第1の期間中に、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内の発語(スピーチ)を検出する一方で、前記サウンドプログラムコンテンツ片における前記第1の期間中に、前記第2のチャネルグループに適用するべきダッキング値を変えるシーケンス時間を生成する処理と、

前記ダッキング値を前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに関連付ける処理と、

音声アセット内のサウンドプログラムコンテンツ及びメタデータをエンコードする処理であって、エンコードした前記サウンドプログラムコンテンツが、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第1のチャネルグループに関連付けられた前記ダッキング値を有する前記メタデータを含んでいる当該処理と、

を含む、方法。

【請求項2】

前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における活性に基づいて時間とともに変化し、前記第1のチャネルグループ内における高活性の期間中では、前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における低活性の間よりも前記第2のチャネルグループのダッキングを再生中に多く提供する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ダッキング値が、前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムにも適用するべく生成され、

前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第3のチャネルグル

ープ、オブジェクト又はシステムのために前記ダッキング値の別個のセットが生成され、前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムは、前記第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムよりも強調されないようにする、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項4】

前記ダッキング値が、再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムのダイナミックレンジを縮小させる、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項5】

前記ダッキング値が、再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを音場内で移動させる、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項6】

前記ダッキング値が、前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに適用されるときに、前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに関連付けられた音響を減衰させる、0デシベル以下のゲイン値である、請求項5に記載の方法。

#### 【請求項7】

前記ダッキング値の適切なセットがチャネルグループ、オブジェクト又はシステムの対応するセットに関連付けられるように、チャネル、オブジェクト又はシステムの複数のグループ化の各々が、別個の識別子、及びダッキング値の対応するセットに関連付けられる、請求項1に記載の方法。

#### 【請求項8】

サウンドプログラムコンテンツ片をエンコードするための方法であって、

前記サウンドプログラムコンテンツ片の再生中に強調するべき前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第1のチャネルグループを決定する処理であって、前記サウンドプログラムコンテンツ片が、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含む複数のチャネルグループを有する当該処理と、

前記複数のチャネルグループの前記サウンドプログラムコンテンツ片をまとめて分析する処理であって、前記サウンドプログラムコンテンツ片の再生中に前記複数のチャネルグループの各グループに適用されるべきダイナミックレンジ圧縮(DRC)ゲイン値を決定する、当該処理と、

前記第1のチャネルグループ内の活性を検出する一方で、前記第2のチャネルグループに適用するべきダッキング値を変えるシーケンス時間を生成する処理と、

前記ダッキング値を前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに関連付ける処理と、

音声アセット内のサウンドプログラムコンテンツ及びメタデータをエンコードする処理であって、エンコードした前記サウンドプログラムコンテンツが、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含む前記複数のチャネルグループと、前記第1のチャネルグループに関連付けられた前記ダッキング値を有する前記メタデータと、前記複数のチャネルグループの各グループに適用されるべき前記DRCゲイン値とを含む、当該処理と、

を含む、方法。

#### 【請求項9】

前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における活性に基づいて時間とともに変化し、前記第1のチャネルグループ内における高活性の期間中では、前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における低活性の間よりも前記第2のチャネルグループのダッキングを再生中に多く提供する、請求項8に記載の方法。

#### 【請求項10】

前記ダッキング値が、前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムにも適用するべく生成され、

前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムよりも前記第3のチャネルグル

ープ、オブジェクト又はシステムが強調されないようにする前記ダッキング値の別個のセットを、前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムのために生成する、請求項8に記載の方法。

【請求項11】

前記ダッキング値が、再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを音場内で移動させる、請求項8に記載の方法。

【請求項12】

音声装置であって、  
プロセッサと、  
前記プロセッサにより、サウンドプログラムコンテンツ片がエンコードされるプログラム命令を記憶したメモリと、を備え、  
前記プロセッサは、

複数のチャネルグループのサウンドプログラムコンテンツ片をまとめて分析することであって、前記サウンドプログラムコンテンツ片の再生中に前記複数のチャネルグループの各グループに適用されるべきダイナミックレンジ圧縮(DRC)ゲイン値を決定し、前記複数のチャネルグループのサウンドプログラムコンテンツ片は、第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含むことと、

前記第1のチャネルグループ内の活性を検出する一方で、前記第2のチャネルグループに適用するべきダッキング値を変えるシーケンス時間を生成することと、

前記ダッキング値を前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに関連付けることと、

音声アセット内のサウンドプログラムコンテンツ及びメタデータをエンコードすることであって、エンコードした前記サウンドプログラムコンテンツが、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含む前記複数のチャネルグループと、前記第1のチャネルグループに関連付けられた前記ダッキング値を有する前記メタデータと、前記複数のチャネルグループの各グループに適用されるべき前記DRCゲイン値とを含むこと、  
を実行するようにプログラム化されている、音声装置。

【請求項13】

前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における活性に基づいて時間とともに変化し、前記第1のチャネルグループ内における高活性の期間中では、前記ダッキング値は、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内における低活性の間よりも前記第2のチャネルグループのダッキングを再生中に多く提供する、請求項12に記載の音声装置。

【請求項14】

前記メモリは、前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムにも適用するために前記ダッキング値の別個のセットを生成するよう前記プロセッサに指示するプログラム命令を更に記憶し、

前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムよりも前記第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムが強調されないようにする、請求項12に記載の音声装置。

【請求項15】

前記ダッキング値が、再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを音場内で移動させる、請求項12に記載の音声装置。

【請求項16】

音声システムであって、  
プロセッサと、  
前記プロセッサにより、サウンドプログラムコンテンツ片がデコードされるプログラム命令を記憶したメモリと、を備え、

前記プロセッサは、

(i) 第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを含む複数のチャネルグループと、(ii)前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに関連付けられたダッキング値であって、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム内で検出された発語活性に基づき生成された当該ダッキング値を変えるシーケンス時間有するメタデータと、を含む前記サウンドプログラムコンテンツ片を包含する音声アセットを受信すること、

(ii) 前記ダッキング値を、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステム、及び前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムと共に抽出すること、

前記サウンドプログラムコンテンツ片の再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムが強調されないようにする前記ダッキング値の適用をすること、

を実行するようにプログラム化されている、音声システム。

#### 【請求項 17】

前記メモリは、前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムが再生のために選択されるかに基づき、前記ダッキング値を適用すべきかの決定をするよう前記プロセッサに指示するプログラム命令を更に記憶し、

再生のために前記第1のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムが選択されないとき、前記ダッキング値は適用されない、請求項16に記載の音声システム。

#### 【請求項 18】

前記メモリは、前記メタデータから別のセットのダッキング値を抽出して、前記サウンドプログラムコンテンツ片内の第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムに前記別のセットのダッキング値を適用するよう前記プロセッサに指示するプログラム命令を更に記憶し、

前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムよりも前記第3のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムが強調されないようにする、請求項16に記載の音声システム。

#### 【請求項 19】

前記ダッキング値は、再生中に前記第2のチャネルグループのダイナミックレンジの縮小を生じさせる、請求項16に記載の音声システム。

#### 【請求項 20】

前記ダッキング値は、再生中に前記第2のチャネルグループ、オブジェクト又はシステムを音場内で移動させる、請求項16に記載の音声システム。